





場面 10

(ゆみちゃん)

「どうして アマモや おさかなさん たちの
かすが へって しまったのかしら。」

ゆみちゃんが たずねると、カブトガニが
いづらそうなようすで おしえてくれました。

(カブトガニ)

「いろいろな げんいんが ある。

にんげんが うみを うめたてて、さかなたちの
すむばしよが すくなくなったことや、
いま、うみでくらす なかまたちの たべものも
すくなくなっていて それも げんいん かのう。」

(たっくん) 「にんげんの せいなあ。」

たっくんと ゆみちゃんは もうしわけなくて
しゅんと してしまいました。

(カブトガニ)

「なくなつて しまったものを、
なげいても はじまらない。

いま あるものを たいせつに することが
できるはずじゃ。」

(ゆみちゃん)

「たいせつにつて、どうすれば いいんだろう?」

たっくんと ゆみちゃんは うーんと
かんがえます。

(カブトガニ)

「きみたちに できる ことでいい。

うみの ためになると おもう ことを
すこしずつ やってごらん。」

カブトガニの はなしを きいたふたりは、
げんきなこえで へんじを しました。

(たっくん・ゆみちゃん)

「わかりました。やってみます。」

ぬく

△ 演じ方 △

悲しそうな声で
ゆっくりと読む

悲しそうな表情で

子どもたちに、
海を大切にする方法を
考えさせても良い

元気よく